

- 1 単元名「伝えよう！和の文化の^{みりよく}魅力」（「和の文化を受けつぐ」東京書籍）
- 2 本単元で育成する資質・能力
 - (1) 話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。（知識及び技能）
 - (2) 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。（思考力、表現力、判断力等）
目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を身に付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。（思考力、表現力、判断力等）
 - (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。（学びに向かう力、人間性等）

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・和の文化に関する複数の情報の関係を理解したり、話し言葉と書き言葉との違いに気付いたりしながら、発表の準備をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和の文化の魅力の説明するために、図書資料等から集めた情報を基に提案の構成や内容について話し合い、自分の考えを広げたりまとめたりしている。（Aーオ） ・和の文化の魅力の説明するために、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付けながら図書資料を読んでいる。（Cーウ） 	進んで効果的に説明する内容や方法について考え、学習の見通しをもって説明しようとしている。

4 単元について

(1)教材観

前学年の引用や要約、分かりやすく報告する学習を受けて、「和の文化の魅力」について資料を活用して説明するという言語活動を位置付けた。まず、教科書教材文「和の文化を受けつぐ」を通して、和の文化について調べる観点や図書資料等の活用方法について理解する。それを基に、自分達が説明したいと思う和の文化の魅力について、図書資料等を使って調べたり、内容や資料を検討したりすることができるようにする。

(2)児童観

本学級は、調べたことや経験したことから、自分の考えを適切に伝えることができる児童は多いが、相手の意見を受けて自分の考えを述べたり付け加えたりすることが適切にできる児童は少ない。そこで、本単元では、「和の文化の魅力」を説明するという言語活動の中に話し合う活動を意図的に取り入れ、「A話すこと・聞くこと」の指導事項オ「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする」力を育てる。

(3)指導観

学級の実態を受けて、本単元では単元全体を通して話し合う活動を位置付ける。実際の授業では、動画やホワイトボード、つみあげチャートを活用して、話し合いで出た考えを可視化し、児童自身が振り返ることで、学習の成果を自覚できるようにする。本時の授業では、ホワイトボードを可視化のツールとし、資料を活用して効果的に伝えるための構成や内容を検討するという話し合いを設定した。話し合う活動では、個々の考えを基に、共通点や付け加えたい点を書き込むことで、児童の考えを広げたりまとめたりしながら、目指す児童の姿に迫りたい。また、実際の準備や発表については、「総合的な学習の時間」に位置付け、和の文化の魅力を伝え合うことで、和の文化を支える職業を理解するなど、教科等横断的な学習につなげたい。

5 単元の指導計画（10時間扱い）

次時	学習内容・活動	指導上の留意点（◎評価）【評価方法】
1 1	<p>○「和の文化の魅力」について、調べて説明するという目的を意識して、学習の見通しをもつ。</p> <p>・学習計画表を基に、学習の流れやゴールを把握する。</p>	<p>◎和の文化に関心を持ち、調べて説明するという目的を意識して教材文を読もうとしている。</p> <p>（主）【感想の交流や振り返りの観察】</p> <p>・動画を見て、学習のゴールを知るとともに話し言葉と書き言葉の違いを理解する。</p>
2 1 2 3 4	<p>○文章の構成図を手がかりに序論、本論、結論での説明の観点や内容、使われている資料を確かめる。</p> <p>課題 筆者は和の文化にどんな思いをよせているのだろうか。</p> <p>・ワークシートを使って文章の構成を理解したり、内容を整理したりする。</p> <p>○本文の筆者の考えや発表の工夫について自分の考えをもち、グループで話し合う。</p> <p>・自分が話し合う様子を記録した動画を見て、振り返りをする。</p> <p>まとめ 和の文化の魅力を私たちが理解することによって、和の文化を受けついでいくことにつながる。</p>	<p>・筆者の考える「和の文化のよさ」を読み取り、共有する。</p> <p>◎観点や内容、資料の使われ方に着目して構成図にまとめたり、自分の考えを明確にしたりしながら読んでいく。</p> <p>（思）【ワークシートの記述分析】</p> <p>◎話し言葉を意識して、自分の考えや伝えたい事柄を明確にして伝えている。</p> <p>（知、思）【動画の様子、自己診断リーダーチャートによる分析】</p>
3 1 2	<p>課題 和の文化の魅力を伝えるために何を取り上げればよいだろうか。</p> <p>○紹介したい和の文化を決めて、必要な情報を収集する。 【例】和紙・住宅・和楽器・和食・工芸・行事・和服</p> <p>○和の文化について、収集した情報から必要な情報を選びたり組み合わせたりする。</p>	<p>◎課題を決め、図書資料やインターネットなどで必要な情報を収集している。（主）【観察、ノートの記述分析】</p> <p>◎自分の課題を解決するために、図書資料やインターネット、インタビューなどから情報を選び、伝えたい内容を考えている。</p> <p>（主）【情報収集の様子を観察】</p>
3 本時	<p>1 本時の課題を知る。</p> <p>本時の課題 効果的に伝わる説明をするために、どんな構成にすればよいか。</p> <p>【構成を考える視点】①観点 ②内容 ③活用する資料</p> <p>2 自分の考えをホワイトボードに書く。</p> <p>3 伝えたいことが明確に伝わるように、説明の構成についてグループで話し合う。</p> <p>4 グループで決まったことを共有する。</p> <p>本時のまとめ はじめにどのような観点で説明するのかを示し、伝えたい内容に応じて資料を使い分ける。また、聞き手を引きつける資料の見せ方や説明の仕方につなげていく。</p> <p>まとめ 取り上げたことが様々でも、そこに共通する和の文化の魅力や和の文化を支えているものに気付かせるような内容にする。</p> <p>5 本時のまとめと振り返りをする。</p> <p>・学習計画表に本時の振り返りを記入する。</p>	<p>・ホワイトボードに記入する際、自分の考えは黒色で記入するように指示する。話し合ったことは青色で書き共通点などは困らざり線で結んだりする。決まったことは中央に赤色で記入するように指示する。</p> <p>・構成を考える視点を共有することで、何について話し合うかを明確にする。</p> <p>◎伝えたい事柄が明確に伝わるように、構成を考えている。</p> <p>（主）【ワークシートの記述分析】</p> <p>◎互いの立場や意図を明確にして考えたことや感じたことを話し合っている。</p> <p>（思）【観察、ホワイトボードの記述分析】</p> <p>・話し合いの過程が可視化できるように、青色の書き込みを特に意識するように声かけをする。</p> <p>※努力を要する児童には、友達と自分の考えの共通点や相違点を探して、考えの広がりを実感できるようにする。</p> <p>・隣のグループ同士で聞き合って構成を共有する。</p> <p>・振り返りでは、話し合いで使用したホワイトボードの記述を見て、自分の考えを伝えることができていたか、友達の考えを聞いて感じたことは何かなどに着目できるように指示する。</p>
総合的な学習の時間	<p>○発表の準備や練習をする。</p> <p>【資料の工夫】</p> <p>・何をどう示すか。</p> <p>・説明のどの部分で示すか。</p> <p>【伝え方の工夫】</p> <p>・問いかけや語りかけ。</p> <p>・聞き手の反応を見て付け足しや言い換えをする。</p> <p>○「伝えよう！和の文化の魅力」発表会を開く。</p>	<p>・資料の提示の仕方や伝え方の工夫などについて、グループで助言し合いながら発表会の練習をする。</p> <p>◎伝えたい事柄が明確に伝わるように、資料を活用して説明したり、自分の意見や知識と比べながら発表を聞き感想を述べたりしている。</p>
4 1 2	<p>○「和の文化の未来」についてグループで話し合う。</p> <p>課題【話し合いのテーマ】 次の世代にも和の文化を受けついでいくために、自分たちができることは何だろうか。</p> <p>○学習計画表に単元全体の振り返りをする。</p>	<p>◎互いの立場や意図を明確にして、考えを広げたりまとめたりしながら話し合っている。</p> <p>（思）【観察、ホワイトボードの記述分析】</p> <p>・単元全体を振り返る際、「この単元でできるようになったことを、次の学習にどう生かすか」ということを意識して記入するように指示する。</p>